

## リカレントプログラム受講者アンケート自由回答（抜粋）

Q1 履修した授業に対する全般的な感想についてお聞かせください。授業に参加して得たものがあればそれも含めて教えてください。

- 日本法よりもむしろ外国法のほうが、日本でまとまった情報を得る機会が少ないと感じているので、こちらでしか習得できない充実した講義内容に大変満足した。
- 相続税法の基本的な考え方について体系的に再確認することができた。
- 仲裁に関する全般的な知見を深めることができた。
- 活発な議論ができ、様々な角度から事例やその背景にある法理を咀嚼する機会となりました。
- 研究者・実務家で問題の捉え方が違う場面があり、それぞれの立場から議論をすることは非常に有益でした。
- ロールプレイを多用した実務的な内容であり、海外のmediatorのものの考え方が理解できた。
- 授業内容が体系的かつ実践的であり、有意義な時間を過ごすことができました。これまで断片的であった知識を整理し直し、理論と実務を結びつけて理解を深めることができました。また、授業に参加することで得られた大きな収穫は、知識面だけでなく思考方法や問題解決のアプローチを身につけられた点です。特にケーススタディやグループワークでは、他の受講生の多様な視点に触れることで、自分一人では気づかなかった論点や発想を学ぶことができました。
- いずれの授業でも基本的な解説と判例をベースに、体系的に学べる機会を得られたおかげで、業務にあたり問題抽出力と事業に関する解析度は上がった気がします。座学が実務に直結するわけではないですが、OJTのみでは得られない思考力と理解力を得ることができたと思います。
- 理論に裏付けられた授業、実務に即した授業の配分が絶妙でした。また、授業内容も最新かつ高度であり、実に参考になりました。

Q2 履修した授業とご自身の業務との関連性について教えてください。

- EU 法を扱う業務に携わっている。
- 相続事件において関連性が大きい。
- 業務において日々交渉から仲裁に至るプロセスを経験している。
- 人事労務を専門としているため、業務に直結する内容でした。
- 自身の業務の50%程度を占める分野の授業でしたので、非常に関連性が強かった。
- 海外法務を担当しており、仲裁の際の注意点について参考になりました。
- 日々の業務と非常に密接に関連していると感じております。授業で学んだ理論的な枠組みや分析手法を実務に当てはめることで、業務上の課題をより体系的に整理し、解決策を検討する際の視野が広がりました。
- 法務部に所属し、出版・コンテンツ事業に関する契約業務等に従事しています。いずれの授業でも、理論と実務の接点を深く掘り下げていくことができました。日々の法務判断の精度と説得力を高める上で大きな意義があったと感じています。

Q3 リカレントプログラムについて、長所と考えられる点、または、改善すべきとお考えの点についてお聞かせください。

■長所と考えられる点

- 図書館や電子データベースなども、正規学生と同じ条件で利用できることは大変良かった。
- 普段の業務の中で個々に調べて対応する事柄について、全体像を体系的確認することは、業務の精度の向上に繋がるので、テーマごとに履修できる仕組みでよかった。
- 図書館も利用できる等、新たに知識を真剣に習得したい者にとっては理想的な環境です。

■改善すべきとお考えの点

- 業務上、出張している期間が多いため、対面での出席が難しかった。
- このプログラムがあまり知られていない点。